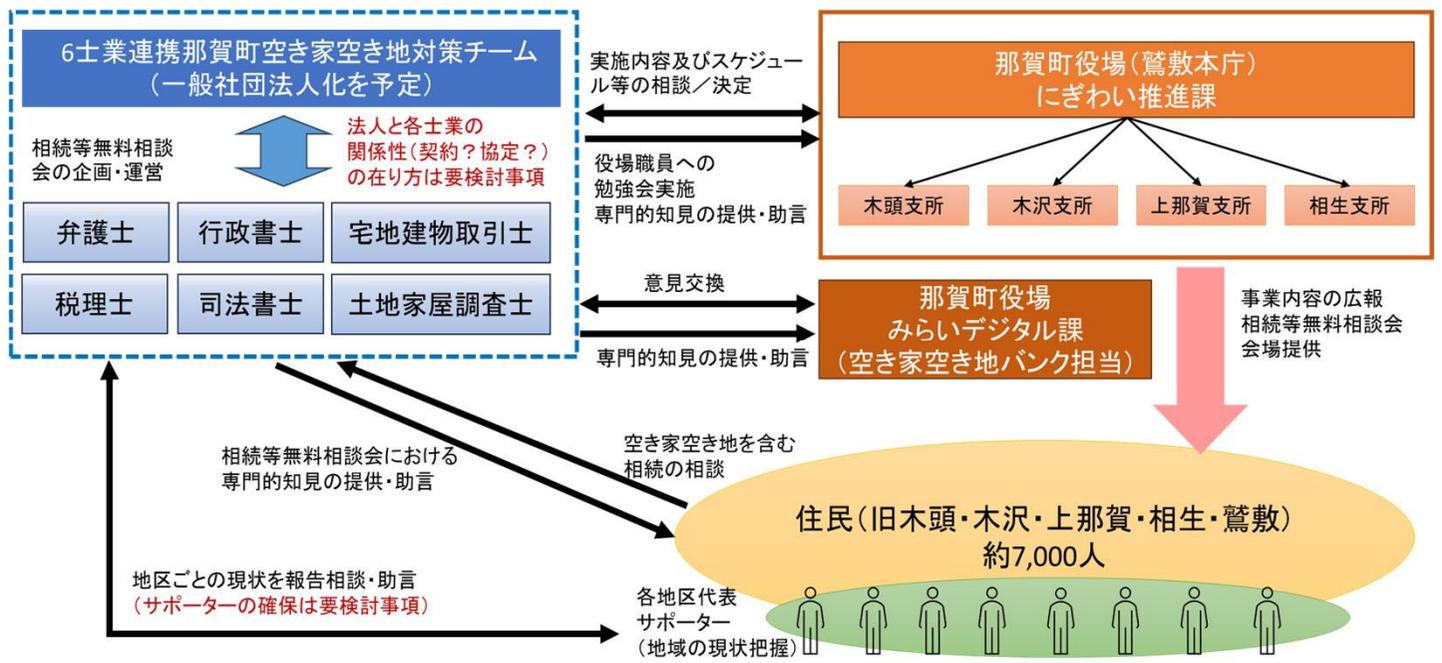


6士業連携那賀町空き家空き地対策プロジェクト(徳島県那賀町 6士業連携那賀町空き家空き地対策チーム)

対象地域	対象地域の特性	地域が抱えている課題	主な取組内容
徳島県 那賀町 全域	5カ町村が合併し、広大な面積を持つが人口は毎年純減し、過疎化と高齢化が急速に進行している。山間部に集落が点在、住民は法的サービスを受けるために車で長時間移動を要する。相続人は県庁所在地や関西、関東等に出ていることが多く、那賀町内において空き家空き地が急増している。共有地が多く、相続人が不明、判明していても手が出せない土地が散見される。山間部の不動産、特に、農地や山林は資産価値が低く、相続登記が放置されやすい状況にある。	役場の人的リソース、職員の法的知識が不足している。「那賀町空き家空き地バンク」は空き家空き地数に対する実績が芳しくなく、問い合わせを受けるだけの受け身の運営となっており、担当者の不動産知識も不足、数年で担当者が異動するためノウハウの継承も困難である。町内の士業は行政書士・宅建士1人のみで、他の専門家（土地家屋調査士、司法書士、弁護士、税理士）は近隣市にいるのみ、士業の高齢化も相まって、町内各地区に出向くことは困難になりつつある。	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家空き地バンクと連携した「相続等無料相談会」、担当職員向け研修会、「空き家空き地バンク運営マニュアル」の作成 ● 全役場職員向け勉強会（相続等） ● 空き家空き地バンクと地元民間団体の連携方法に関する意見交換 ● 空き家空き地バンクを含む移住者向けホームページへの提案 ● 推進法人指定申請のための関係者協議

- ### 事業内容・スキーム
- 空き家空き地の最大発生原因となっている「相続」に対する住民への啓蒙活動を行い、不足しがちな役場の人的リソースを、連携する士業が補完する。
 - 「那賀町空き家空き地バンク」の運営を見直し、空き家空き地の利活用を促進する。
 - 連携する士業は、弁護士、司法書士、行政書士、土地家屋調査士、税理士、宅地建物取引士の6士業である（町内在住の行政書士兼宅地建物取引士がリーダーとして、事業内容に応じて、各士業を采配する）。



モデル事業による取組成果	相続等無料相談会	空き家空き地バンクに関する調査	職員向け勉強会・研修	所有者不明土地意見交換会	住民団体設立
	合計約70件の相談あり。士業と役場向けワークフローを作成し、役割を明確化することで、増加する相談者に円滑に対応した。	5市町村バンクの運営担当者に対してヒアリングを行ったことで、各市町村が全く異なる運営方針及び体制で実施していることを把握した。	役場担当者の協力もあり、全支所で計22名が参加し、積極的な質問も多く受けた。空き家バンク担当者に対して、2時間の「宅建実務研修」を実施した。	町長も参加し、課を横断した意見交換会を実施。所有者不明土地問題を全町で協議した。	空き家とまちづくりで見識と実績のある教授へのヒアリングを通じて、住民団体設立と運営におけるポイントを把握。旧4カ町村住民と士業、有識者で「なか地域価値創造協議会」を設立した。当該団体が今後の事業主体となっていく。